

各工場推薦委員				本會推薦委員			
戸畑鑄物會社	戸畑工場	45	菊田多利男君	出	23	藤井寛君	出
シ	東京工場	46	綱谷俊平君	出	24	向山幹夫君	出
三菱	長崎造船所	47	中村道方君	出	25	梅津七藏君	出
浅野	小倉製鋼所	48	芳賀行義君	出	本會役員		
シ		49	草野克治君	出	理事會長		
川崎	造船所製鉄工場	50	西山彌太郎君	出	1	河村曉君	出
尼ヶ崎	製鋼所	51	千柄實勇君	出	理事		
住友	別子鑛山會社新居濱製作所	52	堀切政康君	出	2	俵國一君	欠
吳海軍	工廠製鋼部	53	神谷基夫君	出	3	水谷叔彦君	出
陸軍	造兵廠大阪工廠		濱田文藏君	缺	4	渡邊三郎君	出
日立	製作所笠戸工場原料係		中野義正君	缺	5	松下長久君	出
鋼擔當		54	小林子之輔君	出	前會長		
東邦	電氣鑄鋼所	55	石澤命知君	出	6	今泉嘉一郎君	出
三菱	航空機會社名古屋製作所	56	林吉之助君	出	委員		
三池	製作所	57	永井雅夫君	出	7	池田正二君	出
東海	電極會社	58	竹島武夫君	出	8	石原善雄君	出
日本	カーボン會社	59	浦山眞三君	出	9	山田良之助君	出
牛尾	製作所	60	加納博義君	缺	10	足立泰雄君	出
米子	製鋼所		恒松成光君	出	11	三島德七君	出
日本	車輛會社	61	服部信次君	缺	澤正一君		
滿洲	沙河工口工場		上島慶篤君	缺	廣瀨政次君		
大華	電氣冶金公司		井門文三君	出			
本溪	湖煤鐵公司	62	中元寺一翁君	出			
奉天	造兵所兵器製造所鑄工場長	63	吉岡美清君	出			
興商	事株式會社	64	宮崎正夫君	出			
栗本	鐵工所	65	千住保藏君	出			
幸袋	工作所		安藤鐵夫君	出			
吾嬭	精鋼所						

III. 研究部會開會の挨拶

日本鐵鋼協會々長 工學博士 河村 曉 君

之より本會第九回研究部會、第五回製鋼部會として電氣製鋼爐の研究部會を開催致します、本題を選定致しましたるに就きましては當地の場所柄誠に其當を得たる企てとして各方面より賛辭を受けました事は本會の欣快とする所でありませ、我國の電氣製鋼事業は近年長足の進歩を見まして電氣製鋼爐を設置して居る處の工場數は全國 64 工場の多きに達して居るのであります、之れ等の工場に對しまして今回調査項目表を配布して御報告を願ひ且つ委員の選出を御願致したる處報告の出揃ました數は 33、爐數 41 爐、工場委員選出數 49 名に達し中に本會推薦の委員 21 名、本會役員 17 名を加へ委員總數 87 名中、出席數 65 名と云ふ多數の委員を以て本日研究部會を開くに至つた次第であります、かく盛況を見るに至りました事は現在如何に電氣爐が本邦製鋼事業上重要な位置を占めて居るかを物語るものであつて將來も亦益々其重要性を加へ一層の盛況を見る事と豫想さるゝのであります、之の研究部會の企てにより我國電氣製鋼事業の振興上に相當の効果を齎される事は本會の熱望して止まざる處であります、今回の調査項目の選定並に報告書の整理、作表等に就きましては専ら大同電氣製鋼所常務川崎舍博士の御盡力によるものでありまして茲に厚く御禮を申述べます、又時局柄事業多端の際にも不拘各工場より多數委員の御出席を得ました事に就きましても感謝の意を表します、之より御手許に配布致しましたプログラムの順序に従ひ研究討議を進めたいと思ひます。

先づ順序として委員長の選舉に移ります。

此時水谷委員より選舉を略し會長の指名となしたき動議を提出せられ滿場一致之に賛成せられたるを以て會長より次の通り指名す。

委員長 川崎舍恒三君(一同拍手)

委員長 工學博士 川崎 舍 恒 三 君

只今會長から御指名に預りました川崎舍であります。圖らずも私が委員長の席を汚すことに相成りましたが、私は斯様な任務には極めて不馴でありまして、この大任を無事に果し得るか否か、甚だしく危惧の念を懷いてゐる次第であります。然し切角の御指名でありますから快く御請を致します。大過なく委員長の任務を果し得る様に皆様の格別の御後援を御願ひ致します。これら豫定のプログラムに従ひ研究部會の講演を開始致します。